



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Follow Your Rotary Dream

「ロータリーの夢を追い続けよう」

1998～99年度・国際ロータリーテーマ/ジェームス・レイシー会長

「明かるいクラブと豊かな人生」

1998～99年度・東京新南ロータリークラブテーマ/宮武 保義会長

本日の例会 2月26日 第597回例会

第3回クラブセミナー

「ロータリー情報の質問に答える -その3」

☆☆ ロータリー創立94周年記念日 (23日) ☆☆

☆☆ 世界理解と平和週間 (23日～1週間) ☆☆

先週報告 2月19日 第596回例会



夜間例会/レディス・ディー
(18:00～20:00)

◎卓話

「輝いて生きる」

歌手・女優・版画家
ジュディ・オング氏

◎会長報告

本日は、今年初めての夜間例会に、ご家族の皆様、ようこそお出で下さいました。

◎出席報告

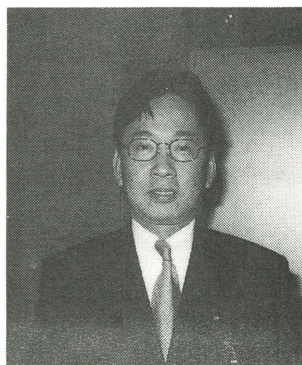
- 会員71名/出席49名・欠席22名(出席規定免除者3名)
- 会員家族(22名、敬称略)/青野悦子、荒木弘子、後藤順子、石井喜子、石東陽子、岩瀬和子、梶内美智子、小澁久美子、小杉克子、大日方スミ子、小原栄子、沖美木子、酒井万里子、佐藤悌子、新保寧子、田辺笑子、谷 敏子、谷 洋平、立林清美、山川佐智子、保森和子、宮武洋子
- ゲスト3名/本嶋公民氏(圓谷会員ゲスト)、李 承福君(米山奨学生)、上野氏(ジュディ・オング氏マネージャ)



2月19日/16件 40,000円
98～99年度累計 1,372,000円
多額のご寄付を有難うございます。
(順不同敬称略)

小杉修造/Judy Onggさんをお迎えして! 田辺賢三/ジュディさん、今日はようこそお出で下さいました。宮武保義/ジュディ・オングさんをお迎えしての素晴らしい夜間例会に感謝して。保森 登/ジュディ・オング様ようこそ当クラブへお出で下さいました。後藤完夫/誕生日の御祝いを頂きましてありがとうございました。酒井一史/誕生月を記念して。荒木昭文/石井さん、入会おめでとうございます。石東嘉男/今夜のパーティーは久しぶりに皆様にお目にかかれるのを楽しみにして参りました。山下忠治/小杉修造さん、ご本をありがとうございました。馬場一廣/雨の中、皆様お風邪などひかれませんか。谷 義一/久しぶりの夜間例会です。皆様よろしく。吉田 武/初めてのSAA担当です。赤いタスキがやけに新鮮に感じます。沖 宏之/小澁先生、いつもありがとうございます。河原勢自/夜間例会に御出席の奥様がた、ようこそ。久しぶりに山川先生のご尊顔を拝しました。山川政樹/本日はニコニコ担当です。皆様ご協力ありがとうございました。

新会員のご紹介 (99年2月19日ご入会)



イシイ ケンジ
石井 謙次君

生年月日 1951年3月24日生(47才)
事業所名 (株)石井工業
役 職 代表取締役
所 在 地 〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-3-5 石井ビル101
TEL 3461-8230 FAX 3461-8396
職業分類 左官工事
住 所 〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-3-5 石井ビル101
TEL 3461-9085
推 薦 者 荒木昭文君、後藤信夫君

柴田(尚)環境保全委員長

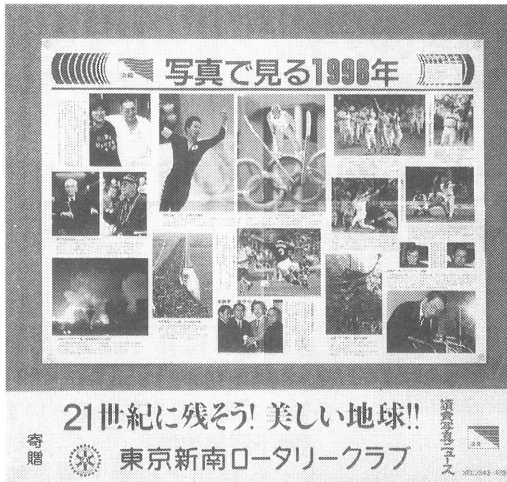
青少年・児童の環境保護に関する意識を啓発することを目的に(株)読売写真ニュースセンターの企画による「環境保護キャンペーン」運動に当クラブもスポンサーとして参画することになりました。

港区内の小学校3校(筈・南山・東町)に掲示板を設置

し毎週4枚の写真ニュース(地域環境保護に係わるものを中心とする)を掲示することとしました。

期間は、99年1月～6月までとし、経費は96,000円。去る1月20日に筈小学校で贈呈を行ないました。

(写真)



2月定例理事会議事録

日 時 99年2月5日(金) 例会後13:40～15:00

場 所 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間

出席者 宮武、小澁、小杉(修)、宮本、小原、
渡部、大日方(敬称略・順不同)

◎決議事項

1. 新会員候補者1名の推薦受付を承認。
2. 地区大会選挙人(代議員)に宮武会長、小澁副会長、大日方幹事を選出。
3. 第5回クラブ協議会(3/26)のテーマ「クラブ奉仕について」を承認。
4. 忘年家族会収支の件
収入不足分21,149円は、親睦活動委員会費より繰り入れることを承認。

◎報告事項

1. 会長報告/R I 会長賞応募について
2. 幹事報告
 - ① I M実行委員会より分科会での発言依頼の件
 - ② R財団奨学金試験申込み者/7名受付
3. 会計報告(幹事より)
4. 国際奉仕委員会報告
 - ①「地区災害救援の為の資金」の募金について
 - ② 米山奨学生・李承福さんのカウンセラー/圓谷正和君(継続)
4. 親睦活動委員会報告
 - ① 千代田分区予選ゴルフ会(3/3)参加者/プレー6名、お手伝い6名
 - ② 歌舞伎観劇会(5/14)、打ち上げ会(6/30)開催予定。

規定審議会の決定 98-45 と 98-52 について

R I 日本サービス・センター 翻訳室長 片岡 瑛子

本誌11月号「投書箱」の出席免除について補足説明をさせていただきます。

会員のロータリー歴と年齢の合計が85年以上のシニア・アクティブ会員は、クラブ幹事に書面で通告し、クラブ理事会に出席免除の承認を求めることができます。これは、ある意味では、救済措置です。例えば、25歳で入会し、現在55歳の方が、この規定を使って出席免除を求めることが可能です。

しかし、仕事が忙しくても、健康であれば、救済措置を受ける必要もないので、出席免除を受けないのが普通でしょう。

会員のみなさんは、毎週例会に出席するつもりでロータリークラブに入会したはずです。もちろん、高齢であっても60パーセントの出席を続ける自信があれば、出席免除を受ける必要はありません。

一概には言えませんが、従来の規定ですと、出席免除の承認を受けても、出席したときは出席に算入し、欠席したときは算入しない、という解釈をしていたクラブも見受けられました。今後は、このような解釈は一切できなくなりました。

規定審議会の決定は堅苦しいと思われるかもしれませんが、従来の規定を使い勝手のよいもの(柔軟と思うか墮落と思うか、人によつて違うでしょうが)にしていこう過程と思えば身近なものになるのではないのでしょうか。

(この記事は「ロータリーの友」本年2月号より引用させていただきます)



卓 話

「私 の 日 本 留 学 の 動 機」

2月5日 第594回例会

米山奨学生
東京大学博士課程

イ スンボク
李 承 福

(国籍・韓国、世話クラブ・当クラブ)

はじめに

皆様、米山奨学生の李承福と申します。専門は超精密加工学で、現在東京大学大学院産業機械工学専攻の博士課程に在籍中です。

生まれは北朝鮮に近い韓国東北部のカンヌンという人口20万の町ですが、小さい時に南の釜山に移り、小学校から大学院まで釜山でしたので、普通は釜山が出身地と答えております。釜山は人口約450万の韓国第2の、かつ韓国で日本に最も近い都市です。

日本の技術者との出会い

釜山工業高校精密機械科在学中の1978年、釜山で世界技能オリンピックが開催され、釜山工高が競技場になりました。その時に使われていた機械の維持補修に日本から来ていた技術者に、半分英語、半分日本語で日本に関する質問をいろいろしました。その人は別れ際に、「李君、これからは機械工学を勉強していくならば、日本に来て勉強すれば」と言い、「立派な機械工学の専門家になってください」と激励してくれました。これがきっかけとなって、日本留学を考えるようになりました。

韓国には兵役義務があり、直接兵役につくと3年で終了できますが、私は防衛企業体に5年間公益要員として勤務して兵役義務を終えました。

大学学部のでき事

兵役終了後に入学した国立釜山工大精密工学科1年の時、植民地時代に日本の大学教育を受けた応用数学の教授は、「未来は君達のものだ。未知の世界を知るためには若いときに外に出て世界の人と会い、知識や経験を広げなさい。まず、近い日本へ行きなさい。日本と韓国の間には不幸な歴史があったが、若い君達にはそれを越えて欲しい。国家間とは違い、個人間では理解できることも多いと思う」と言いながら私達に日本留学を薦めてくれました。

はじめての日本経験

学部2年の1988年、日本エスぺラント協会が私を韓国青年代表として日本に招待してくれました。会場となった札幌での3日間の大会に出席した後、夏休みを利用して約1ヶ月間日本を旅行しました。

出国予定地の福岡までの間、北大を皮切りに、東北大、東大、東工大、名大、京大、広大および九大と、愛知県のトヨタ自動車向け金型工場などを見学しました。

札幌から福岡までヒッチハイクした際今でも忘れられないことは、北海道で車に乗せてくれた人から「李さん、今車で走っているこの国道は、李さんのお父さん、おじいさん達の血と汗で出来た道です」と言われたことです。

また、広島市の平和博物館に行った時には、韓国・朝鮮の原爆犠牲者の慰霊碑が平和公園の外にあったのを見て、少し変な気分になってしまいました。でも、昨年その原爆犠牲者の慰霊碑がようやく平和公園の境界内に移ること

になったというニュースを聞いて嬉しくなりました。

大学院への進学及び日本留学の準備

学部卒業後、奈良に本社がある日本の会社の技術研究開発部に入り、約1年後会社に勤めながら大学院に通うようになりました。日本出張の時、本社の研究員から、「日本はこれまで欧米の先進技術の真似をして物を作ってきたが、今超精密加工技術では日本は世界のトップにある」という話を聞き、日本の研究者たちが自分たちの技術に大きな自信をもっていることを感じ、うらやましく思いました。

日本への留学準備として、学部4年の時に日本語能力試験1級を取得し、日本国費の文部省試験には修士2年終了直前に受かりました。

日本での留学生活

私の所属する東大・谷研究室では超精密加工技術进行研究しており、特に砥粒加工や工具の研究では世界をリードしております。私の指導教官である谷先生は、各種学会の理事以外にCIRPという世界設計加工技術者協議会のメンバーであり、発表論文は韓国の釜山大学大学院などの基本テキストとして採用されているほどです。

留学では、研究・勉強だけではなく、留学国の文化と歴史、日常生活、人々との出会いを通じ、その国を理解することも重要だと思います。研究・勉強面では、厳しくかつ優しい先生に恵まれた環境に大変満足しておりますし、生活面でも国費奨学生の後、米山奨学生として選んで頂き感謝しております。

ただ奨学金を下さるだけでなく、つねに暖かい心で見守って下さっている、新南ロータリークラブの宮武会長始め会員の皆様とカウンセラーにも心から感謝しております。

米山奨学生としての心がけ

今回ような機会は私にとって2度と来ないと思いますので、がんばってできるだけいい研究と多くの経験をしたしたいと思います。特筆すべき経験としては、現在の指導教官と出会ったこと、多くの親切的な日本人と知り会ったこと、米山奨学生となって新南ロータリークラブの皆様と出会ったこと、および昨年日本で次男が生まれたことなどが上げられます。

留学を終えて国へ帰る時に、「日本留学は本当に素晴らしかった」、「私の日本への留学動機は正しかった」と言えるようにがんばります。

帰国後は自分の留学経験を充分生かして、日本と韓国間に正しい理解が進むよう努力すると同時に、ロータリーの理念を忘れず、社会に役立つ人間になるようがんばりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

(本稿は、例会における卓話の原稿をもとに、本紙のために要約して、ご提出いただいたものです。カウンセラーの圓谷さんにも一部お手伝いをいただきました)

千代田A、B分区・山の手A、B分区・京浜A、B分区合同インターミーティング 報告

2月16日(火) 於・ホテルパシフィック東京
ホストクラブ：東京田園調布ロータリークラブ

(2月12日・第595回例会振替
当クラブ出席者／招待2名、登録者46名)

今年度のIMは、千代田、山の手、京浜3分区合同で、去る2月16日(火)ホテルパシフィック東京で開催された。

本会議は、型どおり参加者全員が一堂に会し、開会点鐘、ロータリーソング、来賓紹介、参加クラブ紹介、記念寄付金贈呈、ガバナー挨拶などが行われた。

今年度の大きな特色は、この後分科会に分かれて活発な討論集会が行われたことである。分科会は3つに分かれ、その内2つの分科会は更に小分科会に分かれて、合計7つの分科会が開かれた。それぞれのテーマは次の通りである。

Aテーマ分科会「青少年交換学生並びにロータリー財団及び米山奨学生のあり方について」

Bテーマ分科会「クラブの活性化について」

「例会について」

「奉仕活動について」

「会員増強について」

「親睦活動・退会防止について」

Cテーマ分科会「クラブのあり方について」

「例会について」

「退会防止について」

Cテーマ分科会は、3年くらい迄の比較的新しい会員を対象としている。

分科会での討論終了後、再び、全参加者が一堂に集合して、それぞれの分科会での討議の概要を報告しあった。いずれの分科会においても、最初にリーダーないしサブリーダーから基調報告が行われ、それに対して会場の参

加者から意見、質問がなされ、パネラーとの間で意見を交換し合うという形で進められていた。

青少年交換における輪番制の問題、小規模クラブにおけるクラブ運営の問題、女性会員からの意見、クラブ活性化の具体例など、討議は、それぞれのクラブの具体的な事例に基づいて行われており、大変分かりやすかった。そして何よりも、分科会という形をとったせいか、本音で議論するということが出来ていたように思われる。21世紀に向けて、ロータリーも変わりつつあることを予感させるものがあつたように思う。分科会報告会の最後に、村野ガバナーが「大成功」と締めくくったのが印象的であつた。

懇親会は、会場が狭かったのか、それとも参加者が多すぎたのか、歩くのがままならない程の大盛況でした。アトラクションのフルバンドの昔懐かしいメロディーを楽しみながら、分科会での白熱した議論の余韻が収まらないかのように、そこそこで談笑の輪が広がっていました。

(福島・村山 記)



2月火曜会報告

本年度第8回火曜会が2月2日全日空ホテル37階アストラルで開催されました。

不況も影響してか、このところ火曜会参加者が少なく、前回(5名)のことから親睦委員長の切なる呼びかけにより、今回倍増(11名)のご出席をいただきましたが、まだまだメンバーが固定化傾向ですので、是非とも新しい方のご参加をお待ち申し上げます。

さて、お話の方は石坂二郎会員より「金融あれこれ」と題して、石坂会員が長く金融方面でお仕事をされた経験談や、今日の金融情勢に至ったことがらを分かりやすくお話いただきました。質疑タイムに至っては、話題も色々な方面に飛び、政治のこと、選挙のこと、はたまた日本をどうしていかなければならないか等、話が尽きないところでお開きとなり、大変楽しい火曜会でした。石坂さん、ありがとうございました。(高須 記)



次週予告 3月5日 第598回例会

卓話予定

「教育改革について」

慶応義塾大学大学院 相磯秀夫氏
政策・メディア研究科委員長・教授

東京新南ロータリークラブ

会長：宮武保義 副会長：小遊雅亮 幹事：大日方真
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL：03-3505-5976 FAX：03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL：03-3505-1111

<会報委員>

田中 武、小杉 真史、開発 英基、
柴田 尚毅、大山 啓人、T. CONSIGNY、
谷 義一、金光 圭一、大村 富俊、
村山 公士 (編集担当順)